

ご自由にお持ち帰り下さい。

# エコアクション21 環境活動レポート

【対象期間 平成26年4月～平成27年3月】

平成27年4月30日発行

精密板金加工・溶接・金型技術の  
野村産業株式会社 岩手工場

## 目次

▼ 組織の概要	-----	2
▼ 対象範囲	-----	2
▼ 環境方針	-----	4
▼ 環境目標・活動計画・実績	-----	5
▼ 環境活動計画の取組み結果とその評価	-----	6
▼ 環境関連法規への違反、訴訟等の有無	-----	7
▼ 代表者による全体評価と見直しの結果	-----	7
▼ 次年度の取組内容	-----	7
▼ 実施体制	-----	9

## 野村産業株式会社 岩手工場 会社概要

▼代表者 取締役工場長 平野 正光

▼創業 昭和11年3月

▼資本金 2,000万円

▼社員数 55名（岩手工場）



▼環境管理責任者及び連絡先 品質保証課 兼 企画開発室 課長 千葉 伸

TEL 0197-56-3107 FAX 0197-56-2619 URL <http://www.nomura-sangyo.co.jp>

▼所在地 [本社・府中工場] 〒183-0046 東京都府中市西原町1-13-3 (ISO14001取得済み)

[岩手工場] 〒029-4204 岩手県奥州市前沢区字本杉128

[倉庫] 前沢区字長檀58

▼事業内容 精密板金加工、試作、金型製作、機械加工

▼車両保有台数 10tトラック1台、3.5tトラック1台、営業車1台

▼認証登録範囲 岩手工場 全事業活動

▼売上げ 約7.7億円（岩手工場）

▼生産量 約412t（岩手工場）

▼主要設備

設備	能力	台数	設備	能力	台数
シャーリング	1200/2000mm	2	無加圧スポット溶接機	—	1
パンチ・レーザー複合機	1250x2500mm	2	アルゴン溶接機	14.5KVA	5
レーザー加工機	3kw 1524x3048mm	1	半自動（CO <sub>2</sub> ）溶接機	7.6KVA	4
CAD/CAM等	—	8	スタッド溶接機	—	3
3Dバリ取り機（乾式）	サイド x 1000mm	1	NCスタッド溶接機	—	1
バリ取り機（湿式）	サイド x 600mm	1	多軸タップ	22軸 500x200mm	2
プレス	300t~60t	8	卓上タップ	M2~M8	7
セットプレス	35t~30t	3	かしめ機	0.75KW	1
レベラーフィード	3.2t x 420mm	1	ワイヤーカット放電加工機	350x500mm	2
レベラー	3.2t x 600mm	1	平面自動研削盤	500x900mm	1
NCプレスブレーキ（ベンダー）	170t~60t	9	マシニングセンター	テーブル2300mmと#40	2
追従機	2000mm	1	汎用旋盤	—	2
コーナーフォーマー	3.2t	1	汎用フライス盤	縦型、横型	4
NCタッピング	900x1800mm	2	ラジアルボール盤	1000mm	1
テーブルスポット溶接機	80KVA	2	卓上ボール盤	~φ13	5
スポット溶接機	50KVA~8KVA	10	帯鋸盤	250x250mm	1
インバータースポット溶接機	45KVA	1	レーザーQC測定器	0.05mm	1
Yagレーザー溶接ロボット	3.3KW	1	3次元測定器	—	1
Yagレーザー溶接機	15kva	1	コンプレッサー	~22kw	4

# 環 境 方 針

## 基本理念

- ▼地球環境の保全を経営の最重要課題の一つと位置付け、全員が「もったいない精神」を持ち、精密板金加工のすべての領域において環境保全に配慮した事業を効果的・効率的に展開するべじゃ～！
- ▼「最適生産・最適消費・最小廃棄」の循環型社会の構築に向けて環境保全に寄与し、次代までより美しい自然環境を引継ぐように努力するべ～！

## 環境行動指針

- 1 環境教育・訓練、社内広報活動の実施により環境方針の周知徹底を行います。（環境方針は社外にも公表します）
- 2 エコアクション21に基づき活動しCO<sub>2</sub>、排水、廃棄物の排出抑制、及び環境関連法規制を遵守します。
- 3 グリーン購入を行います。
- 4 徹底した不良率の低減に取り組みます。
- 5 環境配慮製品の売り上げUPを目指します。
- 6 製品含有化学物質管理を促進します。

平成23年4月1日

野村産業株式会社・岩手工場

取締役工場長 平野 正光

# 環境目標・活動計画・実績

## 平成26年度 環境活動計画・実施状況及び評価是正

2015.4.30		2014.4.17	
評価・是正		計画	
承認	作成	承認	作成
平野	S-Chiba	平野	S-Chiba

活動期間 平成26年3月21日～平成27年3月20日

(基準値は平成22年度)

No.	環境目標 (推進担当者) 「達成期日」	方法	具体的取組	チェック者	チェック結果	単位	基準値	中期目標 (H27) -5%	単年度 目標値 -4%	実績値	達成率 %増減	評価及び是正	
1	温室効果ガス排出量 排出係数 2010年12月発表 東北電力実排出係数 0.468 kg-Co2	空調温度の管理	エアコンを夏場事務所28℃、(参考:工場24℃)に設定しているか	環境責任者	○	(kg-Co2)	677,160	643,302	650,074	679,042	95.5	以下、全項目について概ね定着しており良好である。	
			冬場事務所22℃、(参考:工場20℃)に設定しているか		○								
			夏:暑ければ脱ぐ		○								
			冬:寒ければ着る		○								
			天井扇を回し室内上下温度の均一化をしているか		○								
			出荷荷物はまとめて出してシャッターはすぐ閉めているか(生産管理課)		○								
			不使用電力の節約	休み時間の消灯、不要な照明はコマめに消しているか									○
			電力不要時の電源遮断(ブレーカOFF、コンセントを抜く)		○								
			帰る時に元ブレーカを切っているか(夜間運転が無い場合)		○								
			駐車場の水銀灯を夏場OFF		○								
			ガソリン・軽油の節約	アイドリング30秒以上はエンジン停止(冬場を除く)									○
			自動車通勤⇒自転車、バイク、徒歩通勤へ(距離によるが奨励)		○								
			エコ運転の励行		○								
2	廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	支給ボールペンの替え芯 綿手袋の再利用 使い捨てビニール袋を廃止 再資源化 分別の徹底 燃えないゴミの削減	会社支給のボールペンはインクが無くなったら替え芯で使用		○	t	8.216	7.805	7.887	7.543	104.4		
			綿手袋を洗って使う		○								
			残業食、グループ別に通いかゴ		○								
			紙のリサイクルをしたか		○								
			分別して捨てられていたか		○								
リサイクル品を焼却していないか		○											
分別の徹底	リサイクル品を焼却していないか		○										
燃えないゴミの削減	分別の徹底		○										
3-1 3-2	排水量 水使用量	節水の励行	朝礼などで励行したか確認する		○	m <sup>3</sup>	2,157	2,049	2,071	1,508	127.2		
			寮の節水(1)水は最小限で使用する(教育)		○								
			②水を出しっ放しにしない ③シャワー時間を短く努める		○								
4	化学物質使用量	仕入量・使用量の把握	適正な管理(実績の把握)		○	t	0.199	実績把握	実績把握	0.205	100	△重複してある(プレス) 検討はしているがいい物が見つからない(総務)	
			管理状況の確認(チェックシート)		○								
			シンナーの代替物質検討		○								
5	エネルギー使用量	1に準ずる				MJ	13,117,151	12,461,293	12,592,465	13,157,525	95.5		
6	物質使用量	材料歩留まりの見直し 端材の利用 不良低減	ネスティングの実施		○	t	810	実績把握	実績把握	807	100	目標0.015% ⇒ 実績0.014% 良好	
			端材の活用(府中含む)		○								
			不良率の低減(ISO9001)		○								
7	循環的利用物質量	裏紙の利用	プリンターとコピーは両面印刷の徹底		○	t	0.096	0.09984	0.100	0.127	127		
8	総製品生産量又は総商品 販売量 (スクラップの削減数値)	製品生産量 金属スクラップの削減 容器包装使用量	実績の把握		○	t	491	実績把握	実績把握	412	100.0		
			歩留まり向上・不良半減と端材の活用(数値は金属スクラップの量⇒)		○	t	229	218	220	293	66.8		
			屋外の鉄パレットの中へ段ボール、紙類を放置して濡らしていないか 梱包資材を繰り返し使っているか		○	t	8.5	8.1	8.2	9.7	81.7		
9	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入 グリーン購入の推進	エコマーク文具を購入したか(値段検討)		○	%	34	35.7	35.02	27.7	79.1		
			グリーン商品を購入したか(値段検討)		○								
10	環境保全意識の向上	教育訓練の実施 全社員への意識付け	朝礼等で認識させているか		○	回	-	必要に応じ	実績把握	3	100	全体朝礼、品質環境委員会で実施	
			社外教育に参加したか		○	人	-	必要に応じ	実績把握	0	100	該当なし	
11	地域環境・国際協力	地域の清掃活動への参加 地域の文化維持に協力	年1回敷地内の側溝清掃		○	人	-	必要に応じ	実績把握	56	100	5/30チャレンジデーにて清掃ウォーキング実施(全員)	
			チャレンジデーにて敷地内ウォーキング清掃	一緒にやっても可		○	%	全員	全員	全員	100		100
12	製品含有化学物質管理体制 の維持	RoHS体制の維持	JGPSSIガイドラインに基づく構築と維持		○	年	-	維持	維持	維持	100		
13	環境配慮製品の売り上げUP の拡販	食品廃油回収装置「ツマラース」 の拡販	コストダウンと納期対応		○	台	25	100	30	0	-	(売れていない)	

注1: 7. 循環的利用物質量 9. グリーン購入 13. 環境配慮製品の売り上げはプラス目標

注2: 達成率の計算方法 【削減目標の場合】(目標値-実績値)/目標値 × 100+100(%) 【プラス目標の場合】(実績値/目標値)×100(%)

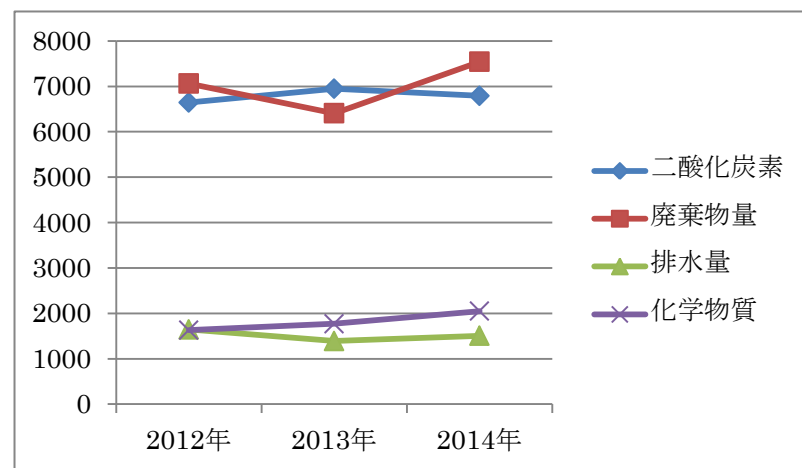
## 環境活動の取組結果とその評価

- ①全体として取り組みが徹底されて良好。
- ②市場不良率も目標達成している。
- ③地域の清掃活動はウォーキング清掃と合わせ実施。
- ④油水分離機の生産を行っているが取り巻く環境は厳しく低迷している。

## 特に評価・反省すべき点

不良率の低減良好。二酸化炭素排出量が売り上げ増に対し昨年度より削減されたが廃棄物は増加。パンチレーザーGの天井扇忘れなどなど掲示物により効果が出ている。

## 必須項目の推移



### ▼トピックス

☆☆☆

### 注目の商品 **環境対策の決め手**

含油水を回収して地球を守ろう！をモットーにツマラーズの製造・販売を開始致しました。

**ツマラーズ** (特許取得商品)

油分離回収装置

**食物残汁などの含油水を投入すれば油が分離！**

**スイッチONで油だけを簡単回収！**

厨房内に設置し、食べ残しを装置に投入する

ことで油分を回収。排水口へは水分のみを

排出し地球環境を守ります。

シンク下内蔵タイプもあります。



	二酸化炭素 (x100kg)	廃棄物量 (t)	排水量 (m³)	化学物質 (x0.1kg)
2012年	6643	7063	1646	1630
2013年	6948	6408	1390	1770
2014年	6790	7543	1508	2050

## 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

品質環境委員会及び「環境関連法規遵守チェック表」により環境関連法令を遵守している事をチェックしました。その結果、法規制への違反はありません。又関連機関及び住民からの苦情・提訴もありませんでした。

## 工場長の全体評価と見直しの結果

環境方針に向かって実施体制と実施状況は社員一人一人の自覚の上でとても良く実施されていると評価している。

- ① 環境方針見直し ⇒ 不要
- ② 目標値の見直し要否 ⇒ 不要
- ③ 取組方法の見直し要否 ⇒ 不要
- ④ 仕組み ⇒ 不要
- ⑤ 運営 ⇒ 不要
- ⑥ 資源の投入 ⇒ 現在のところ未定

## 次年度を取組内容

基本的には今年度の継続であるが次ページに示す取り組み項目を実践し目標達成に向け取り組みます。





# 環境 エコアクション21

2015.4.30

## 平成27年度 環境活動計画・実施状況及び評価是正

活動期間 平成27年3月21日～平成28年3月20日

(基準値は平成22年度)

評価・是正		計画	
承認	作成	承認	作成
		平野	S-Chiba

No.	環境目標 (推進担当者) 「達成期日」	方法	具体的取組	チェック者	チェック 結果	単位	基準値	中期目標 (H27) -5%	実績値	達成率 %増減	評価及び是正
1	温室効果ガス排出量 排出係数 2010年12月発表 東北電力実排出係数 0.468 kg-Co2	空調温度の管理	エアコンを夏場事務所28℃、(参考:工場24℃)に設定しているか 冬場事務所22℃、(参考:工場20℃)に設定しているか	環境責任者		(kg-Co2)	677,160	643,302			
		不使用電力の節約	夏:暑ければ脱ぐ 冬:寒ければ着る 冬:天井扇を回し室内上下温度の均一化をしているか 出荷荷物はまとめて出してシャッターはすぐ閉めているか(生産管理課) 休み時間の消灯、不要な照明はコマめに消しているか 電力不要時の電源遮断(ブレーカOFF、コンセントを抜く) 帰る時に元ブレーカを切っているか(夜間運転が無い場合) 駐車場の水銀灯を夏場OFF								
		ガソリン・軽油の節約	アイドリング30秒以上はエンジン停止(冬場を除く) 自動車通勤⇒自転車、バイク、徒歩通勤へ(距離によるが奨励) エコ運転の励行								
2	廃棄物排出量及び 廃棄物最終処分量	支給ボールペンの替え芯 綿手袋の再利用 使い捨てビニール袋を廃止 再資源化 分別の徹底 燃えないゴミの削減	会社支給のボールペンはインクが無くなったら替え芯で使用 綿手袋を洗って使う 残業食、グループ別に通いカゴ 紙のリサイクルをしたか 分別して捨てられていたか リサイクル品を焼却してないか 分別の徹底			t	8,216	7,805			
3-1	排水量	節水の励行	朝礼などで励行したか確認する 寮の節水①水は最小限で使用する(教育) ②水を出しっ放しにしない ③シャワー時間を短く努める			m <sup>3</sup>	2,157	2,049			
3-2	水使用量										
4	化学物質使用量	仕入量・使用量の把握	適正な管理(実績の把握) 管理状況の確認(チェックシート) シンナーの代替物質検討			t	0.199	実績把握			
5	エネルギー使用量	1に準ずる				MJ	13,117,151	12,461,293			
6	物質使用量	材料歩留まりの見直し 端材の利用 不良低減	ネスティングの実施 端材の活用(府中含む) 不良率の低減(ISO9001)			t	810	実績把握			
7	循環的利用物質量	裏紙の利用	プリンターとコピーは両面印刷の徹底			t	0.096	0.09984			
8	総製品生産量又は総商品 販売量 (スクラップの削減数値)	製品生産量 金属スクラップの削減 容器包装使用量	実績の把握 歩留まり向上・不良低減と端材の活用(数値は金属スクラップの量⇒) 屋外の鉄バレットの中へ段ボール、紙類を放置して濡らしてないか 梱包資材を繰り返し使っているか			t	491	実績把握			
						t	229	218			
						t	8.5	8.1			
9	グリーン購入の推進	エコマーク品の購入 グリーン購入の推進	エコマーク文具を購入したか(値段検討) グリーン商品を購入したか(値段検討)			%	34	35.7			
10	環境保全意識の向上	教育訓練の実施 全社員への意識付け	朝礼等で認識させているか 社外教育に参加したか			回 人	- -	必要に応じ 必要に応じ			
11	地域環境・国際協力	地域の清掃活動への参加 地域の文化維持に協力	年1回敷地内の側溝清掃 チャレンジデーにて敷地内ウォーキング清掃 } 一緒にやっても可			人 %	- 全員	必要に応じ 全員			
12	製品含有化学物質管理体制 の維持	RoHS体制の維持	JGPSSIガイドラインに基づく構築と維持			年	-	維持			
13	環境配慮製品の売り上げUP	食品廃油回収装置「ツマラース」 の拡販	コストダウンと納期対応			台	25	100			

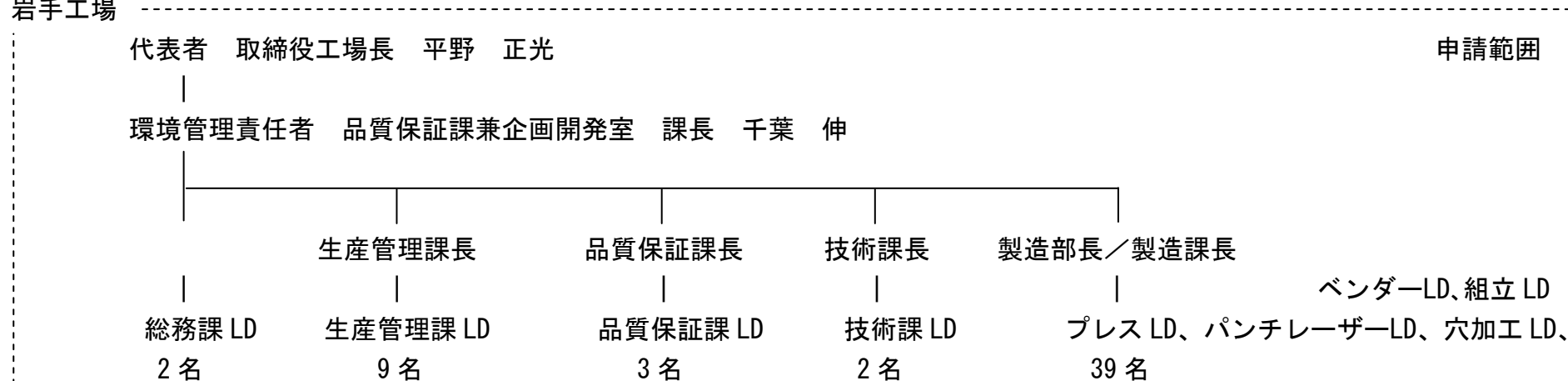
注1:7. 循環的利用物質量 9. グリーン購入 13. 環境配慮製品の売り上げはプラス目標

注2:達成率の計算方法 【削減目標の場合】(目標値-実績値)/目標値 x 100+100(%) 【プラス目標の場合】(実績値/目標値)X100(%)

## 実施体制

本社 ISO14001 取得

岩手工場



### 職務分掌

役割	担当者	職務（責任・権限）
代表者	工場長 平野 正光	①環境方針の制定。②環境管理責任者を任命する。③環境管理責任者からの報告を受け全体の見直しを行う。④取組に対する資源を用意する。
環境管理責任者	品証兼企画開 発室課長 千葉 伸	①代表者に代わってシステムを構築し、運用する。②代表者に結果を報告する。
部門責任者	各担当部課長	部門内において、①省資源、省エネ、節水を奨励・実施する。②EA21 目標達成の取組を推進し、チェックし、環境管理責任者の了承の下必要な是正処置・改善を行なう。③公害防止、緊急事態への予防処置を行なう。
コミュニケーション窓口	品証兼企画開 発室課長	①地域住民、関連機関からの苦情等の窓口業務を行う。②苦情への対策・予防処置策定を行い、代表者の承認を受け関係者に実施を指示し、経過・結果の報告を受け改善・定着を図る。
社員	LD・係員	①部門責任者の下、省資源、省エネ、節水に努める。②EA21 取組に関する教育訓練を受ける。③改善提案を行なう。